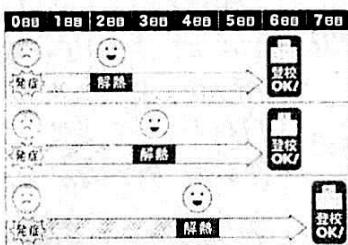
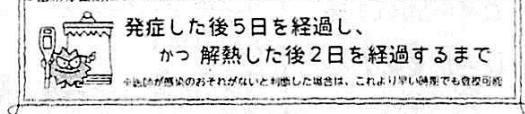


インフルエンザ

なぜ出席停止なの？

出席停止期間



解熱した後、②日を経過するまでのわけ

インフルエンザウイルスに感染すると、1～3日の潜伏期間の後、急に発熱（解熱）します。感染した人からウイルスが出るのは、発症前の1日と、発熱の初期（3～5日くらい）、そして発熱後2日間くらいです。



発症した後、⑤日を経過のわけ

インフルエンザの治療薬を服用すると、ウイルスが残ったままで2日くらいで熱が下がることがあります。この場合、解熱後2日を過ぎても活動力が続くため、「発症した後、5日を経過」する未では出席停止です。



最新の医学情報



画面の見過ぎが子どもの糖尿病リスクを上げるかもしれない。テレビ、ゲーム、コンピューター、スマートフォン、タブレット端末の毎日3時間以上の利用が、体重増加とインスリン抵抗性（インスリンが正常に働くなくなった状態）の高まりに関連していたとイギリスの研究チームが発表したそうです。昨年末のニュースでも、未成年の視力機能が安定していない状態で、長時間画面を見続けることが急性内斜視（片目がずれている状態）を引き起こす要因になるのではと報道されましたね。10代の視聴時間が、今後の健康を左右するかもしれません。ご家庭でも電気機器の使用時間について、話し合う機会をもたれてはどうでしょうか？

あけましておめでとうございます！

初詣には、行きましたか？神様にお願いごとをするときは、まず先に昨年1年を無事に過ごせたことへのお礼を伝えるのがマナーなのだとそうです。まず「ありがとうございます」なのですね。また亥年は、「種の中にエネルギーをためて、次につなげる」時期といわれています。みなさんのいろいろな目標や夢の種を次につなげられるよう保健室からも応援していきます。今年もどうぞよろしくお願ひします。



日本スポーツ振興センター災害給付申請を忘れていませんか？

怪我をして病院（整骨院）を受診した人は、医療費が戻ってくる可能性があります。保健室まで申し出てください。



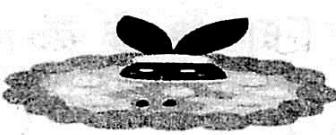
受診再チャレンジ！

春に受けた健康診断で、むし歯の治療や眼科で詳しい検査が必要だと言われているけれど、普段は部活や勉強が忙しくて、ついそのままになっているあなた。冬休みに治療に行けなかった君。新学期・進学の準備期間（O学期）に入りましたよ。再チャレンジのチャンスです。



学校感染症出席停止届けについて

学校において、他の生徒に罹患するおそれのある感染症は、「出席停止」となります。届け用紙は、学校のホームページ上でダウンロードするか、保健室にあります。感染症の種類については、ホームページを参考にしていただくか、保健室にお問い合わせください。



心は目に見えません

心の荷物を軽くするお手伝いをさせてください。気になること、心配なこと何でもいいので、保健室に話しに来てみてくださいね。



ほけんだより 1月

1-2 11畠 1-5 根釜 1-6 俵

1-2 大山 長

年の中は亥。猪は戦国時代に多く武将が信仰していく戦いの神「摩利支天」の使いとも言われています。今も受験勉強と戦っている受験生も、助けてもらいたい神様かも知れません。

ところで、「花札に猪に猪」という絵札があり、猪は魔除けの種物とされており、昔は猪の寝床としても知らされていました。かわいい猪とその猪も安らげる、優しげな花の対比には、いろいろの意味があります。猪の子は一直線にやへんは、ているみんなの人も、こまにはひと休み。試験本番に力を出しきるために、食事や睡眠をしっかりして、音楽を聞いたり好きなことをしてリフレッシュする時間も持つましょう。

(根釜)



イヤウ!! 思い当たるものはあるかな?

マ 口鼻だけ出でてける
正しく口上下裏表
し 気にしない
け 一度使ったマスクを
で 使 翌日も使う
す 一時的に外すとき
か 方 は、ホケットに入れる
? 、

ヒトでも当てはめた人は、せっかくのマスクなのに効果がないかも...。マスクは鼻と口を確実に覆って、スキマをなくそう。ツバトせるには、上下裏表を正しく着用するの大切。一度外したマスクには、ウイルスがついて、再度つけると予防どころか病気になるリスクがある。マスクはなるべく清潔な手でさわって、さわめに取りかえよう。(長)

じつは冬も大切 (根木)

水分補給

夏には熱いのに、冬にはと忘れないのが「水分補給」。汗もかかれない必要はないのです? と思う人もいるかもしれませんね。実はじつとしていても尿や便、皮膚や呼吸から水分は出ています。「水分補給」はカゼやインフルエンザの予防にも

- のどや鼻の粘膜をうるおしてウイルスの感染を防ぎます。
- 侵入したウイルスを痰や唾液と一緒に外に出す便などを助げます。

引いてしまったあとでも発熱や下痢、嘔吐があがむ、いつも以上に大切です。

「印弗魯英撒」に気をつけて!

「印弗魯英撒」をなんと読む? これは伊東玄朴というお医者さんが1835年に「医療正始」という本で紹介した病気の名前で「インフルエンザ」と読みます。インフルエンザという名前は、もともと14世紀頃イタリアでつけられました。『影響』という意味があります。次から次へと人にうつる原因が「わからず」「星の影響だ」と考え、つけられたそうです。それから18世紀の後半、イギリスで大流行した時に「インフルエンザ」という名前が定着しました。それから約150年たった1933年。インフルエンザウイルスが発見され、やっと本当の原因がわかったのです。今では予防法もわかっているインフルエンザ。運を天にまかせず、きちんと実行したいですね。

(大山)